

# 2019Japan National Team Report ” サポーター”



J.O.D.A.  
JAPAN OPTIMIST  
DINGHY ASSOCIATION

報告者氏名	横浜ジュニアヨットクラブ 鈴木 あづさ
大会名	アジア・オセアニア選手権大会
開催地	オマーン・ムッサナー
大会期間	9/30~10/6

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
  1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
  - 2.
  3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について

このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	気温36°C以上と高く、湿気も今まで経験した事がない感じでした。 湿気がありすぎて洗濯した物が乾きにくかったです。
宿泊場所	とてもキレイでマリナーの目の前なので移動時間もなく快適に過ごさせていただきました。 唯一の難点はコインランドリーが無い事。
大会のサポーターへの対応は	対応はとても良かったです。 地元のOmanの方々の陽気な雰囲気と心なりました。
選手たちのコンディションいつもどうでしたか？	コンディション作りの為に個々の好きな物を持ちこみました。 監督やコーチとも話し合い、とても暑いので飲み物を十分に準備をし アルファ米で、ランチ用と帰着時の補食用に おにぎりを毎日作り体調を崩さないように配慮しました。 沢山飲み、沢山食べたので体調を崩すことはありませんでした。
サポーターとして気をつけたことは？	選手が気持ちよくレースに挑めるように、あまり口出しせず見守るようにしました。 今回のアジアチームは、10人全員が仲が良かったのですが 日程が長いのも思春期の難しい年頃でもあるので 一応、子供達(特に女子)の関係性は見るようにしていました。 全日程、特に問題もなく仲良く過ごしてくれたので心配はいらなかったかなと思いました。
海外の選手を見て感じたことは？	あまり日本の選手と変わらない印象でした。 日本の選手と違うのは約束事がルーズな所。
日本の選手を見て感じたことは？	日本選手は帰着後、国に関係なく船を上げるお手伝いを率先して行っていました。 とても素晴らしい光景でした。 IODAの方やOmanの方々に何度もお褒めの言葉をいただきました。

Spare dayの過ごし方は？	なし
JODAへの要望	もっとNT 同士の練習会があるとレベルも上げる事ができると思います。 自分のチームのコーチだけでなく色々な方々からのアドバイスや刺激を受けて自分に合ったセーリングスタイルを見つける事が出来るといいな・・・と思います。
その他	選考会から半年間、大変お世話になりました。 親子共々、とても幸せな時間を過ごさせていただいたと思っております。 子供たちのキラキラな笑顔を近くで見ることができて本当に良かったです。 ありがとうございました！

ご協力ありがとうございました  
JODA海外派遣委員会